

若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム（非英語圏）

（ITP-EUROPA）委員会

（2009年度第6回）議事要旨

1. 日 時 2010（平成22）年1月21日（木）9:00-10:10
2. 場 所 本部管理棟2階 小会議室2
3. 出席者 委員長、委員（宮崎、富盛、和田、中谷）
佐久間研究協力課長、渡邊留学生課長、宮下国際交流係員
4. 配付資料
 1. 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム（非英語圏）（2009年度第5回）議事要旨（案）
 2. 2010年度ITP応募者面接の報告
 3. ITP-EUROPA2010年度派遣若手研究者募集要項
 4. ITP-EUROPA2010年度派遣若手研究者選考スケジュール
 5. 2010年度ITP-EUROPA派遣候補者一覧
 6. 2010年度ITP-EUROPA願書（別冊）
 7. 2010年度ITP-EUROPA若手研究者派遣経費について
5. 議 題
 1. 前回議事要旨（案）について
資料1に基づき成田委員長より説明と内容の確認があり、これを了承した。
 2. 2010年度派遣若手研究者の選考について
資料2に基づき成田委員長より、前回委員会で決定した面接対象者への面接（メールによる聞き取り）結果の報告が行われた。
審議の結果、説田候補については今回派遣することが必ずしも最善とは言えないとの判断で不採用、その他の候補者5名については申請どおり採用とし、派遣期間の調整は行わないこととした。
ただし、2009年度に引き続き2回目の申請となる石田候補については、プログラムの規程により、2009年度の派遣終了後一度帰国。報告・指導等を行った上、改めて2010年度派遣を行うことを確認した。
 3. 国際シンポジウムについて
先ず、和田委員より、2010年度のITP-EUROPA国際シンポジウム（於ボローニャ大学）の準備状況について、報告があった。
開催時期は2010年11月下旬から12月上旬の1日半（2セッション構成）の予定で調整を進めており、本学からの参加者（若手）については、ITP-EUROPA派遣済・派遣中研究者を中心に募集を行うこと、日程については本年初夏にはほぼ確定する見込みであることについて、説明があった。詳細については、ボローニャ側と打合せを続け、次回委員会で検討を行うこととした。
次に、成田委員長より、2012年度のITP-EUROPA国際シンポジウムについて、報告があった。
1月初旬のITP-EUROPAドイツ出張の際に、エアランゲン大学側より2012年5月

～6月頃に同大学に於いて開催することで了承を得たこと、発表の分野・テーマ等については来年中を目途に決定を行う予定であることについて説明があった。

4. その他

成田委員長より、1月初旬のドイツ出張報告があり、モハンマド・ファトヒーさんへの研究指導、現地指導教員との共同指導、また、国際シンポジウムの準備状況について説明があった。報告書は後日提出予定。

和田・富盛両委員より、今後の若手研究者派遣プログラム運営・選考の課題として、申請段階での指導教員の積極的な関与が挙げられ、意見交換を行った結果、来年度以降の公募に際しては、本学指導教員の働きかけによる派遣先機関との共同学位協定等締結の目途を持つての申請が望まれるとした。

また、成田委員長より、本プログラム運営上の課題として、パートナー機関のうち、これまで若手研究者派遣実績のない、スペイン、ポルトガル及びロシアの機関への研究者派遣が挙げられ、検討の結果、今後の若手研究者派遣及び共同学位協定等締結について、委員長が各担当教員へ個別に働きかけを行うこととした。

5. 次回 ITP-EUROPA 委員会の開催について

後日日程調整を行うこととした。

以上